

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

関心・意欲・態度	電子回路に関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。	授業準備 出席状況、授業態度 ノートづくり 課題提出 レポート提出
思考・判断・表現	電子回路に関する諸問題の解決を目指して広い視野から自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫して表現する。	授業中の質問・発言 課題考査 小テスト
技能	電子の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理できる。	授業ノートづくり 技能的課題 実習との連携
知識・理解	電子の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、工業の発展と環境との調和の取れた在り方や現代社会における電子回路の意義や役割を理解している。	定期考査 レポート提出 自己評価票

※1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断し決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

- しっかりノートをまとめること。
- 分からない点についてそのままにしないこと。
- あきらめずに何度も挑戦すること。
- この授業で学んだことは、課題研究における「ものづくり」に役に立ちます。